

優秀賞

「私の夢」

南部 志歩

私の夢は人の命を救う仕事をする事だ。命を救うというと医者や看護師を思いつくかもしれないが、私が考えているのはそのどちらでもなく薬剤師だ。理由は薬剤師という仕事はとても大切な仕事だと思ったから。医者がいても薬がなくては治療できないし、意味がない。そんな大切な仕事をやってみたいと思った。

さて、私にはもう一つ別の夢がある。「すべての分野での薬剤師になれたら……」という夢だ。まず一つは薬を作って人の命を助けることだ。自分の作った薬で人が助けられるという喜びを感じてみたいと思う。次の夢は世界中の薬について調べること。私は、日本の医療だけではなく他の国の医療についても学び、もっと安全な薬を作りたいと思っている。そして、今はまだ治療法の見つかっていない病気に対しての効果的な薬を見つ

けたいと思っている。

私は小さいときに祖父を亡くしている。原因はガンだった。しかし、祖父は余命三年と宣告されたにも関わらず七年間も生きた。理由は分からない。生命力が強かったのかもしれないし、治療がよかったのかもしれない。一つ言えるのは、祖父は毎日一生懸命生きようとしたことである。決して諦めず、生きることでだけを考えて七年間生きた。人にはそれだけの力がある。生きたいと強く願うことで身体の中に何かの奇跡が起こるかもしれないのだ。私はそんなふうに「生きたい」と願う人たちの支えになってあげたいと思っている。

これらの夢を実現させるためには、まずもっともつと勉強しなくてはいけない。今の私の実力ではどうても無理だ。今まではただ目の前にある道（進路）を歩んできただけだったが、これから違う。これからは誰かの後に付いていくのではなく、自分の夢のために、自分の選んだ道を、自分の責任で歩いていかなければいけない。これからは誰も何も教えてくれない。自分で調べて決定していかなくてはいけない。私にそんな大切なことができるかとても心配だ。私にはまだ自分の将来を背負う準備はできていない。夢を持つことは大切なことかもしれないが、夢ばかりがふくらんで、かえってその夢が重荷になってしまいかもしれない。私のように一つの夢しかない、もし何か

の理由でその夢が実現できなかったとき、自分には何も残されない。そこからまた新たに夢を持って、そこからスタートすることは簡単なことではないと思う。もちろんそうやってやり直せた人もたくさんいると思うが、きつとかなりの努力をしたのだろう。夢というものは難しいと思う。夢を持つことで自らの目標を立てることができるとし、心の支えになったりもするが、逆に大きすぎる夢はプレッシャーにもなるのだから。私は一つの夢にこだわるのではなく、複数の夢を持つことも大切だと思う。だから私は薬剤師になるという夢のほかにも、もう一つ夢がある。それは幸せになることだ。

もちろん幸せといっても、人それぞれ違う。私の場合の幸せとは、一生好きなことを続けることだ。私はバスケットが好き、読書が好き、映画が好きだ。ほかにも好きなことはたくさんある。それらを一生続けることが私の夢だ。好きなことを続けるのは気晴らしにもなるし、なんといっても楽しい。簡単なことかもしれないけれど、難しい夢ばかりだと嫌気がさすし、気分的にもしんどい。だから私はあえて簡単な夢にしたのだ。一生懸命に薬剤師になるために勉強しながらも、たくさん好きなことをして楽しく毎日を過ごし、いつか薬剤師になって今度は自分だけではなく、多くの苦しんでいる人も幸せにしてあげるつもりだ。

これだけの夢を叶えようと思うと、自分たった一人の力では無理だ。きつとつらいときも、苦しいときもある。そんなとき、やはり支えてくれる人が必要だ。だから家族や友達とのつきあいは、今からしつかりしておかなくてはならない。本当に自分のことを理解してくれる人物がそばにいてくれれば、がんばることができる。ただし、自分のことを理解してもらうことはとても難しいので、一番可能なのは親だと思う。いつも私のこと考えていてくれるし、やさしすぎず、時にはとても厳しく当たってくれる。きつと悩みがあれば真剣に考えてくれると思う。だから私は今のうちから、自分の夢について、親と話し合っておこうと思う。自分がどれだけ真剣に考えているかを知っておいてもらうのだ。理解してもらうことができれば、それは夢実現の第一歩だ。少し夢に近づける。もう一度言おう。私の夢は、薬剤師になって、他の人々をたくさん幸せにして、自分もたくさんたくさん幸せになることだ。



山城2回 森貞男